

船井情報科学振興財団 2023 年度活動報告書



公益財団法人 船井情報科学振興財団

船井情報科学振興財団 2023 年度活動報告書

目次

理事長 ご挨拶	3
財団の活動概要	4
1. 奨学事業	5
2. 褒賞事業	12
3. 財務の概要	15
4. 2024 年度事業計画	17
5. 2024 年度役員・評議員及び委員	18
6. 財団の沿革	20

2023 年度活動報告書発行にあたって

船井情報科学振興財団は、船井電機株式会社創立者船井哲良が個人財産を拠出して、2001年4月25日文部科学省の許可を得て設立されました。その後、法人制度の改革により、2011年3月30日、公益財団法人として認定されました。

科学技術は絶え間ない研究により急速な発展を遂げております。我が国は科学技術先進国として世界に貢献する使命を持続的に果たす必要があります。そのためには、さらなる高度な研究開発の推進、グローバルな視野を持った優れた人材の育成が不可欠です。当財団は、海外大学への留学を目指す積極的で意欲ある優秀な学生に授業料、生活費などの奨学金を支給することにより、若者の留学意欲を高め、広い視野をもった人材の育成に貢献します。また、情報科学、情報技術分野、および、広くそれに関連した理系分野において、顕著な研究業績を上げた若手研究者の褒賞を通じて、一層の研究の推進を支援します。これらの奨学事業、褒賞事業を通して、船井情報科学振興財団は、我が国の科学技術の発展に貢献するとともに、広く世界に貢献したいと考えております。

公益財団法人 船井情報科学振興財団
理事長 船井哲雄



財団の活動概要

公益財団法人船井情報科学振興財団は、情報科学及び情報技術に関する履修又は研究を行う日本人海外留学生に対する奨学金の支給並びに情報科学及び情報技術に関する研究について顕著な功績のあった者に対する褒賞等により、わが国の科学技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的として設置されました。

主に以下の事業をおこなっています。

1. 情報科学及び情報技術に関する履修または研究を行う日本人海外留学生に対する奨学金の支給
2. 情報科学及び情報技術に関する研究について顕著な功績のあった者に対する褒賞
3. その他目的を達成するために必要な事業

この事業は、本邦及び海外において行うものです。

1. 奨学事業

海外の大学院又は大学に留学し、学位取得を目指す日本人学生に対して、奨学金を支給することにより、若手人材を育成し、もって我が国の科学技術分野の発展に寄与することを目的としています。

以下の内容で奨学生を募集しました。

*応募資格

情報科学、情報技術分野を中心に広く理工系分野、生命科学分野、および、経済・経営分野において、海外の研究大学の大学院に Ph.D.取得を目的として留学を目指す者、及び、日本の高校を卒業し、海外の大学で学士取得を目的として留学を目指す者。

日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者であることを条件とする。

*募集人数

- ・大学院（博士号取得）留学：10名程度
- ・大学（学部）留学：1～2名

*支援内容

- ・大学院（博士号取得）留学：授業料全額
医療保険費全額
生活費3,000ドル/月
支度金50万円（日本に在住する者）
渡航費（往復航空運賃）
- ・大学（学部）留学：年間30,000ドル

*支援期間

- ・大学院（博士号取得）留学：原則2年間（ただしイギリスについては原則3年）
- ・大学（学部）留学：最長、学部留学の4年間

*募集方法

Web サイト https://funaifoundation.jp/scholarship/scholarship_guidelines_phd.html などにて公表。

*募集期間

2023年6月1日（木）～2023年9月30日（土）23:59（期間内のみ応募可能）

*選考方法

選考は本財団の奨学事業選考委員会で書類選考を行い、その合格者に対して、面接選考を行う。その結果に基づいて、理事長が選考内定者を決定する。

2024年度の奨学生は次ページのとおりです（学部の奨学生はありませんでした）。

2024年度Funai Overseas Scholarship 授与者/10名

大学院留学生

(敬称略)
(五十音順)



荒井 智大

留学先 Katholieke Universiteit Leuven, Belgium / Doctoral School of Biomedical Sciences

研究分野 Fetal Medicine

応募時の所属先・卒業校 Katholieke Universiteit Leuven, Belgium / Doctoral School of Biomedical Sciences / 東北大学医学部医学科



中島 悠翔

留学先 University of Minnesota, Twin Cities / Physics

研究分野 Nuclear Theory, Quantum Chromodynamics

応募時の所属先・卒業校 京都大学理学部理学科物理科学系



大古 一聡

留学先 University of California Berkeley / Electrical Engineering and Computer Sciences

研究分野 Machine Learning

応募時の所属先・卒業校 東京大学情報理工学系研究科 数理情報学専攻



宮武 茉莉

留学先 University of California Berkeley / Mechanical Engineering

研究分野 Food HCI

応募時の所属先・卒業校 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻



川手 里桜

留学先 California Institute of Technology / Mechanical Engineering

研究分野 Experimental Fluid Mechanics

応募時の所属先・卒業校 明治大学理工学部機械工学科



本橋 悠人

留学先 Eidgenössische Technische Hochschule Zürich / Quantum Engineering M.S.

研究分野 Atomic Physics / Quantum Information Science

応募時の所属先・卒業校 東京大学工学部物理工学科



杉山 優衣

留学先 Oregon Health & Science University / Neuroscience

研究分野 Auditory Neuroscience

応募時の所属先・卒業校 京都大学医学部医学科



安室 美陽

留学先 Georgia Institute of Technology / Biology

研究分野 Molecular Biology

応募時の所属先・卒業校 北海道大学農学部応用生命科学科



高橋 秀明

留学先 Columbia University / Computer Science

研究分野 Artificial Intelligence / Computer Security

応募時の所属先・卒業校 東京大学学際科学科総合情報学コース



渡邊 優大

留学先 University of California San Diego / Electrical and Computer Engineering

研究分野 Control theory

応募時の所属先・卒業校 京都大学大学院情報学研究科情報学専攻 システム科学コース

応募時の所属先は2023年9月時点のものです

以下に、過去1年間に行われた主な行事の報告をします。

*夏の交流会

コロナ禍で中止となっていた対面での夏の交流会が4年ぶりに再開されました。

日程は2023年7月28日(金)から31日(月)、会場はヒルトン・サンフランシスコ・ユニオンスクエアでした。現役生のみに参加してもらうという形で開催し、奨学生33名が留学地から開催地であるサンフランシスコに集結しました。プログラムは以下の通りです。

7月28日(金) ホテルにて顔合わせ夕食会

7月29日(土) ホテル会議室にて研究発表・討論会

益田副理事長が開会挨拶

続いて、奨学生3名による研究発表

塚本紘康 Toward Aerospace & Robotic Autonomy

鄭麗嘉 脂質とタンパク質のネットワークの解明

笠井淳吾 PhD 体験記 AI・自然言語処理、激動の五年間
～機械翻訳、ChatGPT,生成AI～

その後、昼食をはさんで奨学生2名による研究発表

馬淵祐太 Molecular and neural underpinnings of mating behavior
in *Drosophila*

田主陽 次世代触媒のデザイナー生物に学び、生物を超える一

続いて、グループに分かれて全体討議

その後、奨学生2名による研究発表

大岸誠人 遺伝学から理解するヒト免疫系

小松夏実 Illuminating neurochemical signaling in acute brain slices
with non genetically-encoded near

橋本業務執行理事がZoomにてご挨拶をされました。

夕食会

7月30日(日) ホテル会議室にて研究発表

奨学生26名による研究発表

若原征哉 精密農業技術を用いたジャガイモの施肥・灌漑管理

織井理咲 Tech + Health Low and Middle Income Countries

荒川陸 Achieving human behavior change effortlessly through
ubiquitous intelligence

花田美月 Why do we want to count things?

磯部知弥 遺伝子変異と造血

高柳早希 Tackling neurodegenerative disorder with synthetic
cell biology

坂田莉奈 初期発生における染色体異常

上原雅俊 強化学習の研究はどこに向かっているか

五十嵐祐花 プログラミング言語研究の意義

河野麗 Reachability Analysis for Robot Cooperation and Safety
大西由吾 Topology in Materials
伊藤絵美 F-block Metal-Based Single-Molecule Magnets
宇都隆宏 Tunable Moiré System to Explore Quantum Physics
柳伶旺 Ultralight Materials
大西基也 Hello, World!
小平暁雄 Simultaneous Spatial-Temporal Parameter Calibration
between LIDAR and Camera
長谷川公大 IE in the era of LLMs
ファミタンロン Hybrid of data-driven and static program analyses
明石晃一 Life as a medic at British University
藤田創 ヒモになりたい DNA(と僕)
宍倉真理 Nature and Nurture on the Brain～生まれも育ちも、脳～
田中彬義 Integrated Circuit Design For specific application
黒岩麟平 タンパク質の相分離の仕組み
西尾祐哉 Soft bioelectronics
妹尾歩 さっくり、りょうしコンピュータ
平田憲 Deriving aerosol impacts on the climate using numerical
models and observations

夕食会

7月31日(月) 朝食後解散



* 2024 年度 FOS 採択者顔合わせ食事会

2023 年 11 月 24 日、2024 年度 Funai Overseas Scholarship (大学院留学・学部留学) に採択された方の顔合わせ会を帝国ホテルにて開催しました。



* 年末交流会

2023年12月27日 一時帰国中の奨学生、卒業生および2024年度採択者と財団関係者との年末交流会を帝国ホテルにて開催しました。参加者は総勢49名でした。

第一部では、以下の3人の方に講演をお願いしました。船井頭氏（船井財団元事務局長・理事）、岡本尚也氏（一般社団法人Glocal Academy 理事長、東京大学先端科学技術センター客員上級研究員；2011年度奨学生 University of Cambridge, 2014 Ph.D.）、五十嵐歩美氏（東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授；2014年度奨学生 University of Oxford, 2018 Ph.D.）。第二部では、夕食会を開きました。



* 2024 年度 FOS 交流食事会

2024 年 4 月 2 日、2024 年度 Funai Overseas Scholarship（大学院留学・学部留学）に採択された方と 2024 年度 Funai Overseas Scholarship 面接選考者との交流食事会を ANA インターコンチネンタルホテルにて開催しました。



* 2024 年度 FOS 壮行会

2024 年 6 月 18 日、2024 年度 Funai Overseas Scholarship (大学院留学) 採択者と 2024 年度 Funai Overseas Scholarship 面接選考者の壮行会を京王プラザホテルにて開催しました。



2. 褒賞事業

大学又は公的研究機関に所属し、情報科学、情報技術分野を中心に広く理工系分野において、顕著な研究業績のあった若手研究者に船井学術賞、船井研究奨励賞として褒賞を授与し、我が国の科学技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的としています。

以下の内容で募集しました。

●船井学術賞……………6件／年

(船井哲良特別賞 300万円×1件・学術賞 150万円×5件)

●船井研究奨励賞……………12件／年

(研究奨励賞 50万円×12件)

*対象分野

情報科学、情報技術分野を中心に広く理工系分野

*資格

国内の大学又は公的研究機関に所属する若手の研究者(国籍は問いません)。船井学術賞は39歳以下(2023年4月1日時点)、船井研究奨励賞は応募時に博士号取得後5年以内の研究者を対象とする。

*応募方法

Webサイト https://funaifoundation.jp/grantees/fit_award.html などにて公表。

*選考方法

本財団の褒賞事業選考委員会において選考し、理事長が決定する。

*募集期間

2023年10月1日(日)～2024年1月15日(月)(必着)

2023年度の受賞者は次ページの通りです。なお、本財団は、日本情報処理学会のFIT船井業績賞の支援もしております。

2023年度船井学術賞
船井哲良特別賞 受賞者



吉田 悠一
国立情報学研究所情報学プリンシプル研究室
教授

アルゴリズムの平均感度解析
の創始と発展

2023年度船井学術賞 受賞者 /5名

(敬称略)



五十部 孝典
兵庫県立大学大学院情報科学研究科
教授

超高性能船号の設計と実社会展開



金子 健太郎
立命館大学 総合科学技術研究機構
教授

新しい酸化物半導体の開拓と
パワー半導体応用



川上 恵里加
理化学研究所
理研白濁研究チームリーダー

真空中に浮いている電子の量子
状態の読み出しと量子コンピュ
ータ実装への展開



月崎 電童
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
准教授

小惑星探査機はやぶさ2を実現
したマイクロ波イオンエンジンの
研究



横矢 直人
東京大学大学院新領域創成科学研究科
准教授

多次元高分解能電荷画像解析
のためのデータ融合技術の研究

(五十音順)

2023年度船井研究奨励賞 受賞者/13名

氏名	所属先/役職	対象業績
有沢 洋希	東京大学大学院工学系研究科 物理工学専攻 助教	磁気・歪み結合系におけるスピンメカニクス現象の開拓
井上 智好	広島大学大学院統合生命科学研究科 日本学術振興会特別研究員PD	光伝播の複数動画像をワンショット記録可能な超高速動画像イメージング技術の開発と応用
岩崎 悠真	物質・材料研究機構マテリアル基盤研究センター 主任研究員	マテリアルズ・インフォマティクスによる新材料創製
碓野 裕明	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教	高性能な超薄型有機太陽電池を用いた電源内蔵型ウェアラブルエレクトロニクスの創出
神野 莉衣奈	東京大学大学院総合文化研究科 助教	超ワイドバンドギャップ材料酸化アルミニウムガリウムの熱的安定性に関する研究
嶋海 紘也	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 特任講師	理論上任意の立体形状に自動で折れる折紙の計算製造技術とその産業応用
久富 隆佑	京都大学 化学研究所 助教	マグノン誘起ブリルアン散乱の量子情報処理応用及び新散乱現象の発見
日比野 有岐	産業技術総合研究所新原理コンピューティング研究センター 研究員	スピン軌道トルク磁気メモリのためのスピンホール材料の開拓
宮原 大輝	電気通信大学大学院情報理工学系研究科 助教	カードベース船号の理論と実践
室賀 駿	産業技術総合研究所ナノカーボンデバイス研究センター 主任研究員	データ駆動型複合材料評価技術に関する研究
茂木 将孝	東京大学大学院工学系研究科 助教	磁性トポロジカル絶縁体ヘテロ構造における量子化現象とスピントロニクス機能の開拓
森 秀人	大阪大学 ヒューマン・メタベース疾患研究拠点 特任准教授(常勤)	ゲノム編集を支援するソフトウェアツール群の開発
山本 和樹	東京工業大学理学院物理学系 助教	開放量子多体系における超伝導と観測誘起相転移の開拓

(五十音順)

2024年度 FIT船井業績賞 受賞者

氏名	所属先/役職	対象業績
Ling Liu	米国ジョージア工科大学 教授	データのプライバシー保護における先駆的・世界的研究業績

所属先・役職は応募申請時のものです。

2024年5月18日には、船井情報科学振興財団褒賞式及び懇親会が58名様のご出席のもと、京王プラザホテルにて開催されました。式次第は以下の通りです。

一、開会の辞

一、理事長挨拶 理事長 船井 哲雄

一、Funai Overseas Scholarship 贈呈

1. 選考経過報告 選考委員長 益田 隆司

2. Scholarship 贈呈

一、博士号取得者紹介・記念品 贈呈

一、船井学術賞・船井研究奨励賞 表彰

1. 選考経過報告 選考委員長 齊藤 英治

2. 船井研究奨励賞 表彰

3. 船井学術賞 表彰

4. 船井研究奨励賞受賞者代表挨拶 及び 業績内容講演

東京大学 助教 神野莉衣奈

5. 船井哲良特別賞受賞者挨拶 及び 業績内容講演

国立情報学研究所 教授 吉田 悠一

一、閉会の辞

その時の写真を以下に掲載します。



2023 年度船井学術賞受賞者



2023 年度船井研究奨励賞受賞者



2024 年度 Funai Overseas Scholarship 授与者



2023 年度に Ph.D. を取得した奨学生

3. 財務の概要

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	25,244,065	23,206,279	2,037,786
基本財産受取配当金	25,244,065	23,206,279	2,037,786
特定資産運用益	269,563,537	273,870,090	▲ 4,306,553
特定資産受取利息	269,563,537	273,870,090	▲ 4,306,553
雑収益	13,101,811	2,961,928	10,139,883
為替差益	13,101,811	2,961,928	10,139,883
経常収益計	307,909,413	300,038,297	7,871,116
(2) 経常費用			
事業費	367,326,756	315,515,526	51,811,230
褒賞金	18,600,000	18,600,000	-
募集費	2,559,598	1,460,823	1,098,775
会議費	28,690	22,400	6,290
旅費交通費	4,957,458	459,234	4,498,224
諸謝金	1,169,395	1,169,395	-
贈呈交流費	16,157,351	3,794,947	12,362,404
奨学金	322,520,253	288,744,383	33,775,870
雑費	1,334,011	1,264,344	69,667
管理費	44,842,847	37,037,257	7,805,590
役員報酬	12,600,000	12,750,000	▲ 150,000
給料手当	12,038,901	9,570,880	2,468,021
退職給付費用	4,350,000	720,000	3,630,000
法定福利費	2,284,647	1,614,941	669,706
福利厚生費	11,664	13,565	▲ 1,901
貸借料	1,699,962	1,699,728	234
会議費	1,394,195	455,204	938,991
諸謝金	1,169,385	705,918	463,467
旅費交通費	2,725,794	407,943	2,317,851
業務委託費	2,827,685	6,600,000	▲ 3,772,315
通信運搬費	833,121	928,488	▲ 95,367
印刷製本費	283,521	382,507	▲ 98,986
消耗什器備品費	1,032,526	52,793	979,733
図書費	9,567	38,268	-
ホームページ管理費	1,056,000	708,480	347,520
光熱水道費	179,860	156,313	23,547
雑費	346,019	232,229	113,790
経常費用計	412,169,603	352,552,783	59,616,820
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 104,260,190	▲ 52,514,486	▲ 51,745,704
特定資産評価損益等	1,275,495,542	▲ 411,739,117	1,687,234,659
評価損益等計	1,275,495,542	▲ 411,739,117	1,687,234,659
当期経常増減額	1,171,235,352	▲ 464,253,603	1,635,488,955
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券売却益	272,473,019	11,845,092	260,627,927
経常外収益計	272,473,019	11,845,092	260,627,927
(2) 経常外費用			
投資有価証券売却損	175,863	1,648,001	▲ 1,472,138
経常外費用計	175,863	1,648,001	▲ 1,472,138
当期経常外増減額	272,297,156	10,197,091	262,100,065
当期一般正味財産増減額	1,443,532,508	▲ 454,056,512	1,897,589,020
指定正味財産からの振り替え			
一般正味財産期首残高	7,439,901,283	7,893,957,795	▲ 454,056,512
一般正味財産期末残高	8,883,433,791	7,439,901,283	1,443,532,508
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	25,244,065	23,206,279	2,037,786
基本財産受取配当金	25,244,065	23,206,279	2,037,786
基本財産評価損益	577,448,537	49,909,557	527,538,980
一般正味財産への振替額	▲ 25,244,065	▲ 23,206,279	▲ 2,037,786
当期指定正味財産増減額	577,448,537	49,909,557	527,538,980
指定正味財産期首残高	1,862,221,790	1,812,312,233	49,909,557
指定正味財産期末残高	2,439,670,327	1,862,221,790	577,448,537
III 正味財産期末残高	11,323,104,118	9,302,123,073	2,020,981,045

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,103,732	9,632,819	1,470,913
未収金	48,997,015	19,991,320	29,005,695
立替金	0	9,229	▲ 9,229
流動資産合計	60,100,747	29,633,368	30,467,379
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	2,439,670,327	1,862,221,790	577,448,537
基本財産合計	2,439,670,327	1,862,221,790	577,448,537
(2) 特定資産			
投資有価証券	8,521,787,741	7,008,209,722	1,513,578,019
奨学事業記念資金	302,165,000	402,415,000	▲ 100,250,000
特定資産合計	8,823,952,741	7,410,624,722	1,413,328,019
固定資産合計	11,263,623,068	9,272,846,512	1,990,776,556
資産合計	11,323,723,815	9,302,479,880	2,021,243,935
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,813	0	8,813
預り金	610,884	356,807	254,077
流動負債合計	619,697	356,807	262,890
負債合計	619,697	356,807	262,890
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
投資有価証券	2,439,670,327	1,862,221,790	577,448,537
指定正味財産合計	2,439,670,327	1,862,221,790	577,448,537
(うち基本財産への充当額)	(2,439,670,327)	(1,862,221,790)	577,448,537
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(8,823,952,741)	(7,410,624,722)	1,413,328,019
正味財産合計	11,323,104,118	9,302,123,073	2,020,981,045
負債及び正味財産合計	11,323,723,815	9,302,479,880	2,021,243,935

4. 2024 年度事業計画

1-1. 奨学事業

(1) 2025 年度 Funai Overseas Scholarship 授与者を決定する。

1-2. 褒賞事業

(1) 2024 年度船井学術賞受賞者、船井研究奨励賞受賞者を決定する。

1-3. 上記 1、2 の審議・決裁のために

(1) 理事会を年 2 回 (予定)

(2) 評議員会を年 1 回 (予定)

(3) 審査委員会をそれぞれ年 1 回 (予定)

を開催する。

5. 2024 年度役員・評議員及び委員

役員

理事長	船井 哲雄	旭川十条病院 院長
副理事長	益田 隆司	東京大学 名誉教授
業務執行理事	岡本 祐幸	名古屋大学 名誉教授
業務執行理事	橋本 雅伸	元公益財団法人 NEC C&C 財団 専務理事

(五十音順)

理事	大山 宣男	元香港ニチメン 社長
	久門 智祐	Massachusetts Institute of Technology 博士研究員
	國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	齊藤 英治	東京大学大学院工学系研究科 教授
	千葉 滋	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
監事	中井 崇	弁護士
	尾崎 行正	弁護士
	小谷野幹雄	公認会計士・税理士
評議員	伊藤 公平	慶應義塾長
	海老根靖典	元藤沢市長、株式会社 TSUNAGi 代表取締役
	金出 武雄	カーネギーメロン大学 創始者記念全学教授 京都大学高等研究院 招聘特別教授
	苅谷 剛彦	オックスフォード大学社会学科 教授 ニッサン現代日本研究所 教授
	徳田 英彦	国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事長 慶應義塾大学 名誉教授
	船井 秀彦	船井電機株式会社 取締役
	松重 和美	四国大学 学長、京都大学 名誉教授
	米本 光男	塚原・米本・三浦事務所 パートナー

選考委員

(五十音順)

奨学事業 選考委員	加藤雄一郎	理化学研究所 主任研究員
	坂本 啓	東京科学大学工学院機械系 教授
	高橋 航圭	北海道大学大学院工学研究院機械・宇宙航空工学部門 准教授
	千葉 滋	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
	益田 隆司	副理事長
	山本 薫	九州大学大学院システム情報科学研究院電気システム工学部門准教授
褒賞事業 選考委員	稲見 昌彦	東京大学総長特任補佐・先端科学技術研究センター 副所長／教授
	今井 浩	明治学院大学情報数理学部 学部長／教授
	齊藤 英治	東京大学大学院工学系研究科 教授

杉山 将 理化学研究所 センター長、東京大学 教授

松野 文俊 京都大学 名誉教授

大阪工業大学工学部電子情報システム工学科 特任教授

*上記の益田隆司副理事長、岡本祐幸業務執行理事、橋本雅伸業務執行理事以外の役員（理事長、理事、監事、評議員）、選考委員は全員非常勤である。

(2025年2月末現在)

6. 財団の沿革

年	内容
2001 年	財団法人 船井情報科学振興財団を設立 (4月) 外国人留学奨学生事業開始
2002 年	褒賞事業開始 船井情報科学振興賞・奨励賞 FIT 船井業績賞・船井ベストペーパー賞
2009 年	船井情報科学振興賞・奨励賞を廃止し、新たに船井学術賞、船井研究 奨励賞を創設 日本人海外留学奨学事業を開始
2010 年	外国人留学奨学事業休止
2011 年	公益財団法人船井情報科学振興財団に移行